

平成 29 年 2 月 24 日

岡本

「第 12 回市民活動団体交流会（全分野）」2 班グループワーク議事録

## 議題 “生涯住み続けたいまち大阪狭山” について 団体・個人として何ができるか、どうすべきであるのか

1. 日時：平成 29 年 2 月 18 日(土) 14 時～16 時

2. 出席者(敬称略)：橋本・村上(婦人会)、中野(ライオンズクラブ)、今村(寺子屋カフェ KIZUNA 倶楽部)、岡田・浅野(まち研環境)、高橋・田中(まち研都市計画)、渡辺・片山(狭山中円卓)、岡本(VIC)

### 団体・個人の得意とすること・強み・自慢できること&自己紹介

- ・大阪狭山市婦人会
  - ・行政及び各種団体からの要請には対応力がある
  - ・社会、ボランティア活動に関心がある人が多い
  - ・会員と会員友人とのネットワークがしっかりしている
  - ・いろいろな分野で活躍している会員が多い
  - ・市民を巻き込んだ企画、活動等すべて女性でおこなっている
- ・大阪狭山ライオンズクラブ
  - ・行動力～若い人が増えボランティア活動に積極的に参加
  - ・組織力～近隣のクラブ間で連携を取り、緊急時に対応できる組織作り
  - ・発言力～皆様の役に立つ団体になるために、人と人との繋がりを深めている
  - ・we serve～我々は奉仕する
- ・寺子屋カフェ KIZUNA 倶楽部
  - ・ドイツ語、花道など知的財産提供
  - ・言葉遣い、マナー、接客・接遇などのコミュニケーションの実践
  - ・官、民のコミュニケーション力を育てる
  - ・身近なところで、要望があれば婚活も行う
  - ・現在は休部状態である
- ・まち研環境
  - ・まち研には五つの部会があり、そのなかの環境部。現在 8 名在籍
  - ・ゴミに対して池まつりや産業まつりで PR 活動に取り組んできた。その結果 H27 年度大阪狭山市一人当たりのゴミ排出量ワースト 1 から 3 位へ
  - ・過去にはあまの街道等の自然環境を守るとか三屋川の清掃を実施
  - ・住環境の取り組みの一環として空き家問題ですべての家を回って行政に提出

- ・住環境、関空問題への取り組みなど
- ・狭山中円卓会議
  - ・地域全体が活動範囲の対象で構成員 68 名。いろいろな場所に出向いて活動している。
  - ・構成員全員のコミュニティー向上を目指す
  - ・小学校から大人まで一緒に楽しめる事業がある
- ・まち研都市計画行財政
  - ・まち研の中ではまち大を出て入って来る人が一番多い。現在 16 名。出席も良い。三部会(地産地消 G・都市計画 G・観光 G)に分かれて活動している。
  - ・地産地消グループは本当にできるかと思っていることをやり遂げた。狭山池まつりのトラック市で野菜も販売した。
  - ・今年は休耕地を手に入れたので来年はそこで作ったものを販売したい。そして“道の駅的“なものでも作ろうかと計画している。
  - ・都市計画部では環境のことで昨今の鳥池新池での話し合いをした。又、クリーン水素シティの講演会等も開催した。
  - ・観光を推進促進する。特にさやか観光の助力。昨年狭山池築作 1400 年記念啓蒙事業を又、狭山市地域を発掘中。

## “生涯住み続けたいまち大阪狭山市”について

### 団体・個人として何ができるのか、どうすべきであるのか

- ・ You Tube でいろんな情報を発信しては如何か。又、情報をもろうか。情報の有効活用が重要。
- ・ 人口減少が問題になっている。行政主導で婚活を実施しては。婚活がうまくいけば狭山市に住んで頂けて若返る。又、子供も出来れば人口増加にもつながる可能性大～ KIZENA 倶楽部ではお手伝いできるしノウハウもある。税金でするのは如何なものかとの話もある。
- ・ 自由が丘の土がたくさんになり 40 年間ほったかされていつも困っていた 市民の要望をはやく聞いてやってほしい。何度要請してもなににも変わらない。協働とは何か。行政が仕事をして足りないところを市民がボランティアでカバーするのではないのか。行政は市民におんぶにだっこし過ぎ。行政は市民協働を理解しているのか。
- ・ 行政は何もしない。市民がなんで無料で働かなければいけないのか。その答えがない。市民協働の意味をなんぼ話して頂いても理解できない。
- ・ 市民協働の意味がわからない。行政の職員も現場に出てこなければ協働ではない。
- ・ 団体交流会の席に行政の方も参加してはどうか。生の声を聞いて欲しい。
- ・ 今回の話は行政に伝えて貰えるのか～もちろんと回答
- ・ 行政の上の方にも声が上がっているのか。途中で止まっていないか

- ・行政はどんなボランティアを求めているのか。他の人の職を奪っているのでは？
- ・行政は説明が不十分。市民に良く分かるよう説明が必要。例えばクリーン水素ステーションなど。
- ・団体間の繋がりがあまりない～市民活動交流会等でうまく活用してほしい。
- ・団体にも得意不得意があるのでこのような機会を持って繋がりが出来れば有難い。
- ・今日の話は行政にどう届くか、どう届かせるかが問題。
- ・行政からの情報がなかなか市民に届かない。
- ・婦人会独自で出来ない事でも協力することが出来る。前回の団体発表会で天野街道のお話を聞きタオル集めに協力している。
- ・円卓に出す金を少しは自治会に出してほしい。
- ・我々の一人相撲ではなく、行政の担当部門とお話をする機会をもうけて頂ければ有難い。

以上